



山口県立宇部工業高等学校図書委員会

T O S H O



知 是 力 也

2018年12月号(2018/12/17)

冬休みの開館

開館時間：9：00～16：30
閉館日：土日祝日、学校閉庁日

冬休みの特別貸出

帯出期間：12/17-1/4
貸出冊数：一度に4冊まで

図書館から多くの本を借りた人 (7月～11月末)

1st Y.Nくん (機2) 2nd R.Sくん (機2) 3rd S.Mさん (化1)
4th M.Mくん (子3) 5th I.Aくん (子3)

1st Y.Nくん (機2) 『戦艦大和』(児島襄)

「平和を欲するなら戦争を理解せよ」、これは戦史研究家ベイジル・リデル=ハートの言葉だ。

しかし、「戦争」は現在の教育からは遠ざけられがちである。
ところで、今の日本は平和だろうか？

たしかに他国と比べれば平和だろう。戦争状態にはないし、防衛出動も起きていない。しかし、尖閣、竹島、北方領土、不審船の侵入など、どれも争いの芽は持っている。

この「戦艦大和」はフィクション(小説)で史実ではないが、戦争とはどういうものかを知るには、手に取りやすい一冊だと言えるのではなかろうか。



(特別寄稿) I.Wくん (子3) 『報知高校野球』と僕

僕は『報知高校野球』を目当てに図書室に足を運ぶ。

この雑誌は、色々な視点から野球というスポーツについて、様々な特集が組まれている。プロ・アマのトップ選手へのインタビュー、強豪校が取り組んでいる練習方法、投球や打撃や守備で意識すべき点など。

野球に限らず、トップ選手から学ぶことは多くあるもので、図書室には各運動部の競技スポーツの月刊誌が置いてあるので、みんなにも是非、目を通してほしいです。

目当ての本がなければ、先生に頼めば、注文してもらえます。発行されて時間の経った古い雑誌はもらえたりもします。図書室は、僕たち工業生に尽くしてくれる素晴らしい場所です。昼休みなど、気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか。



(裏面あり)

新 着 図 書 (一部)

『黒猫王子の喫茶店（お客様は猫様です）他』 『探偵は教室にはいない』
『はじまりと終わりをつなぐ週末』 『昨日がなければ明日もない』
『どこかでだれかも食べている（オノ・ナツメ）』
『空に向かってかっ飛ばせ！未来のアスリートたちへ』
『りっぱなマジシャンへの道 マジック入門』 『万引き家族（是枝裕和）』
『1%の成功をつかむ 99%の「準備力」（霜田正浩）』



『図説中世ヨーロッパの美術』
『ある男（平野啓一郎）』 『ゼロトレ』
『七つの試練（石田衣良）』 『出雲大社』
『白いジオラマ（堂場瞬一）』 『』
『蜜蜂（マヤ・ルンデ）』 『言語聴覚士の一日』



『論理ガールー人生がときめく数学的思考のモノガタリ』

『銀河食堂の夜（さだまさし）』
『思い出が消えないうちに（川口俊和）』
『夏空白花（須賀しのぶ）』
『マスカレードナイト（東野圭吾）』
『青い空を数えて（武田綾乃）』
『14歳明日の時間割（鈴木るりか）』
『さよなら、田中さん（鈴木るりか）』
『ディア・ペイシエント（南杏子）』
『下町ロケット ヤタガラス（池井戸潤）』 『自分を好きになりたい（わたなべぼん）』
『無名でもすごい超優良企業ー業界地図の見方が変わる！』
『星空がもっと好きになる 星のを見つけ方がよくわかるもっとも親切的な入門書』
『学習まんが 世界の歴史 17巻』



『ある男（平野啓一郎）』
『すぐ死ぬんだから（内館牧子）』
『家庭教室（伊東歌詞太郎）』
『沈黙のパレード（東野圭吾）』
『ダンテライオン（中田栄一）』
『天上の葦、上下（太田愛）』
『自衛隊防災 BOOK（防衛省）』



『世界の国旗と国章大図鑑』 『本当は面白い数学の話』
『外国語を話せるようになるしくみ』
『イメージで比べてわかる 前置詞使い分け BOOK』
『震災と向き合う子どもたち 心のケアと地域づくりの記録』
『大相撲語辞典 相撲にまつわる言葉をイラストと豆知識で』
『ノーベル文学賞を読む マルケスからカズオ・イシグロまで』
『いつかすべてが君の力になる 14歳の世渡り術（梶裕貴）』
『俵万智読みだれ髪』 『東大教授が教える知的に考える練習』
『島のエアライン 上下（黒木亮）』 『名作短編で学ぶフランス語』
『明日への一歩（津村節子）』 『ほぼ命がけサメ図鑑』
『超ビジュアル日本&世界の未来年表 今後50年で起きること』

保護者の方にも、この図書だよりを渡してください。